



田無公民館つうしん

耐震改修工事ニュース Vol.6



田無公民館は耐震改修工事のため令和3年4月から休館しています。

工事完了までの1年間、田無公民館を利用していたサークル間の交流をはかるため、定期的に「田無公民館つうしん（耐震改修工事ニュース）」を発行します。

【サークル活動紹介】「NPO 法人生活企画ジェフリー」

寄稿していただきました。

●東日本大震災は、関連死を含む死者・行方不明者が2万2千人を超え、原発事故直後は47万人が全国各地に避難した未曾有の大災害で、4万3千人が未だ避難中です。

3.11を忘れず避難者に寄り添い支援の輪を拡げてきた生活企画ジェフリーは昨年度1年間、新型コロナウイルス感染に細心の注意を払いながら、聞き取り・編集を行い、西東京市と協働で、『3.11から10年—東北被災者と西東京市の人びとが紡いだ日々』を発刊しました(2021年1月)。その内容は西東京市の職員・NPO・社協・企業等が互いの枠を超えて助けあい・協働してきた貴重な記録にもなりました。既に広く市民に無料配布したので、お読みになった方々は、懐深く多様な活動を認め合う、我が町の人びとを誇りに思われたことでしょう。

●実は発刊後に、市民の皆様と関係者が一堂に集い、語り合えるイベントを予定していましたが、残念ながらコロナ禍で中止に。このままでは冊子が願った「3.11を忘れない」「協働の輪の助け合い」も遂行できなくなる。困った！と思い、スタッフ皆で必死に知恵を出し合い、今年7月、関係者の声を集め、『コロナの下、ジェフリーとみんなで紡ぐ ひとこと近況集①』を刊行しました。対面交流がダメなら「紙面で交流しよう」と工夫して作り上げた冊子です。これからも、互いを尊重し、助け合える場づくりを続けていきたいと思っています。

●『3.11から10年』または『ひとこと近況集①』をお読みにになりたい方は市内公民館6館に配架しています。残部がない場合は職員にお声かけください。



▲表紙(左)と裏表紙(右)。A4判、70ページ。
3.11東北被災者と西東京市の人びとの10年間の日々をご覧ください。



▲表紙(左)と裏表紙(右)。A4判、16ページ。
『3.11から10年』発刊後のコロナ禍の暮らしのさまざま。30数名の声を掲載しました。

田無公民館はわが団体を生み育ててくださった大事な場です。1994年に「たなし女性セミナー」として誕生し、10年後により責任ある活動を進めるためにNPO法人になって17年目です。現在の主な活動は、男女共同参画の推進と東日本大震災の被災者・地支援の2つで、沢山の皆様と協働しながら、多角的に楽しく進めています。記録の重要性を思い、出版した冊子等は10冊を数えます。



私たちは人も対話も大好き。楽しく活動中。

田無公民館からお知らせです。

つながるプロジェクト

ワクワクをつなげよう～田無公民館の未来予想図～

リニューアルオープンする田無公民館の未来予想図を、皆でイメージしてみませんか？
どんな公民館になるのかな？ ワークショップ形式で、皆で考えます。

日程・内容

日程	内容
10月17日(日)	新しいロビーの使い方は？
12月19日(日)	目的の違う人が共存するには？
1月16日(日)	地域課題ってなあに？（まとめとグループ発表）



時間：午前10時～正午

場所：田無総合福祉センター(仮)活動室

講師：高井 正(立教大学特任教授)

対象：市内在住・在学・在勤者

定員：25人(申込み順)

申込み：10月4日(月)10時から電話かメールで田無公民館へ

田無公民館の様子をお知らせします。



外観

公民館・図書館の外壁が足場と養生シートで覆われました。内部は廊下や階段も床・壁材・天井が剥がされた状態になっています。

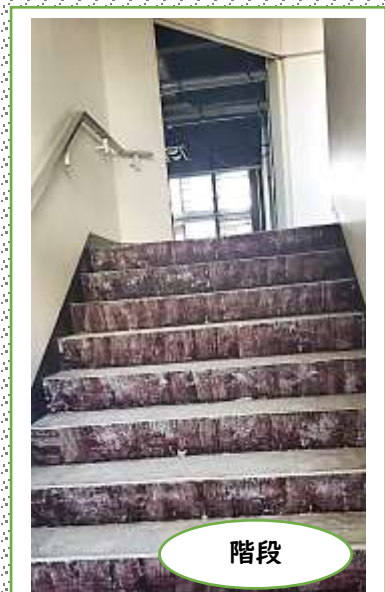
(9月8日現在)



実習室



3階北



階段

田無公民館つうしん(耐震改修工事ニュース) Vol.6

発行：令和3年10月1日

編集：田無公民館 E-mail: tana-kou@city.nishitokyo.lg.jp

Tel: 042-464-8211 (柳沢公民館内)